



令和 5 年 10 月 23 日

市政記者 様

## ながさき水道水 in 長崎生まれの再生ペットボトル !!

長崎市では、持続可能な循環型・脱炭素社会の実現を目指し、長崎市で排出された使用済みペットボトルの一部を、ケミカルリサイクル (※1)により、再びペットボトル又はペットボトルの原材料(PET 樹脂)を製造する「ボトル to ボトルリサイクル」を実施(※2)しております。

この度、リサイクル意識の更なる向上と、長崎市の水道水の安全性やおいしさを、多くの市民に知っていただく機会を創出していくことを目的として、再生ペットボトルに長崎市の水道水を充填した、オリジナルボトル『ながさき水道水』を製造しました。

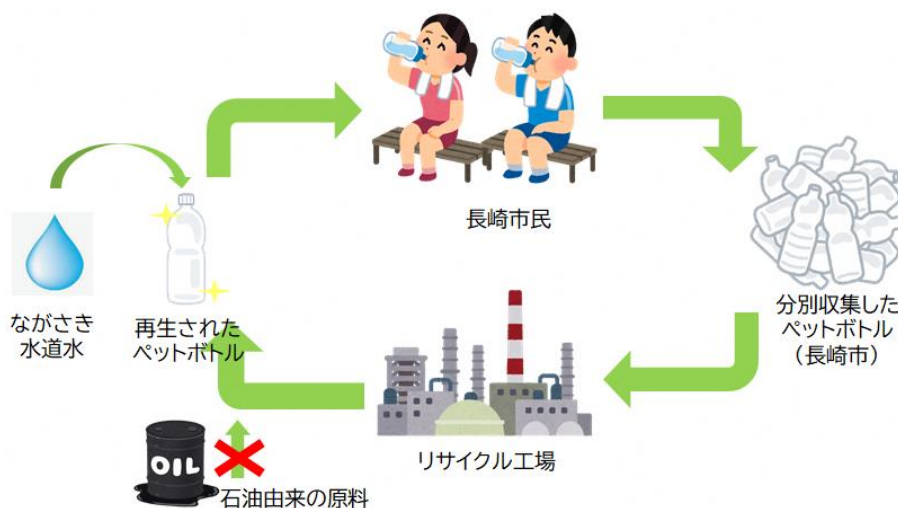
製造したオリジナルボトルは、今後、ながさきエコライフ・フェスタをはじめとした市の行事等において利用していくことを予定しております。

この度、その第 1 弾が完成しましたので、取材及び周知にご協力をお願いします。

(※1)JEPLAN グループ独自の PET ケミカルリサイクル技術により、使用済みペットボトルを分子レベルまで分解し、不純物を除去して再生することで石油由来の PET 樹脂と同等品質の原料にリサイクルすることができる。

(※2)令和 4 年度の実証事業において、500mlペットボトル換算で約 307 万本分の PET 樹脂を製造。

### 【事業イメージ図】



### 【事業効果】

- ◆ 使用済みペットボトルを原料に繰り返し再利用することによる石油由来の原料の削減。
- ◆ 市民の皆様が分別排出したペットボトルが、再びペットボトルとして活用されることを、実際に手に取って実感できることによるリサイクル意識の更なる向上。
- ◆ 長崎市の水道水の安全性やおいしさを、多くの市民に知っていただく機会の創出。 など